—C. B. Clarke in Hook. f., Fl. Brit. Ind. **2**: 417 (1878)—H. Ohba in Ohashi, Fl. E. Himal. 3rd rep. 308 (1975).

Sedum rotundatum Hemsl. var. *oblongatum* Marquand et A.-Shaw in Marquand in Journ. Linn. Soc. **48**: 184 (1929), syn. nov.

Distr. E. Himalaya (Nepal, Sikkim, and Bhutan), Tibet, and Yunnan.

Rhodiola Bouvieri (R.-Hamet) H. Ohba, comb. nov.

Sedum Bouvieri R.-Hamet in Journ. Bot. **54**: suppl. 1, 11 (1916)—H. Ohba in Ohashi, Fl. E. Himal. 3rd rep. 360 (1975).

Distr. E. Himalaya (W. Nepal).

Literature cited

Ohba, H. 1975. A revision of the eastern Himalayan species of the subgenus Rhodiola of the genus *Sedum*. In Ohashi, H., Flora of Eastern Himalaya 3rd rep. 283-362.

* * * *

(9) イワベンケイ亜属 (Ohba, 1975) は根茎に尋常葉とりん片葉あるいはりん片葉を生じ，それらの葉腋から花茎を出すといった特徴をもつほか，さらに雌雄異株となること，雌花は萼筒をもつこと，多少とも合生する子房や基部が中央よりも狭ばまる花弁をもつ等の傾向を有している。前報 (Ohba, 前出) 発表後ベンケイソウ属 (広義) の検討をさらに進めた結果，このような特徴や傾向をもつイワベンケイ亜属はやはり独立の属として認めるべきだと考えるにいたった。そのため欧文欄に書いた9種の学名変更が必要となる。*Rhodiola pachyclados* は西ヒマラヤに分布する根生葉をもつ種類で *R. primuloides* に近縁である。*R. atsaensis* はさじ形で葉状の花被片をもった特異な種類でチベット東部の数ヶ所で発見されている。*R. amabilis* は本報 (4) で，その他の種類については Ohba (1975) で詳しく記述した。

□国立国会図書館: **改訂増補　国立国会図書館支部上野図書館所蔵本草関係図書目録** pp. 100+34+39+54+9. pls 4+4 つかさ書房 (東京)。(1976. X) ¥3700。上野図書館には，本草学者としても知名だった白井光太郎氏の旧蔵書と，本草学者としての伊藤圭介氏の旧蔵書が引きとられていたことはよく知られている。それの蔵書が整理されて，其他の同図書館における本草書と共に目録が出版されたのは昭和27から28年であった。その後絶版になっていたのを覆刻するに当って，昭和36年3月を規準として，それまでに追加されたものをも加えて一冊になって刊行された。白井文庫・伊藤文庫の関係上，昭和になって発行された屋久島植物誌があったりはするが，多くの稀書が列記されているのは大変参考になるのでありがたい。 (前川文夫)